

つながって
ささえあう社会へ立憲民主
RIKKEN MINSHU重要な政治決戦の年!
具体的な政策を提案し、その実現を図る!

皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は、4月の衆院補欠選挙、10月の解散・総選挙と、大事な選挙が続いた年でしたが、私ども立憲民主党参議院比例第7総支部、並びに総支部長である私の国政活動に対し、引き続き温かいご支援と激励を賜り、誠にありがとうございました。

あらためて振り返ってみると、昨年の最大の政治課題は、やはり自民党の裏金問題でした。私は、当初から一貫して、裏金問題の本質は「政治が歪められてきたことだ」と訴えてきました。自民党やその所属議員に巨額の献金をしたり、多額のパーティー券購入をする企業や有力者など、一握りの有権者・支援者のための政策が追求・推進され、その結果、労働者の雇用や社会保障、地方の暮らしの安心が損なわれ、私たちが「失われた30年」と表現してきた日本社会・経済の停滞・苦境がもたらされてし

まったのです。1990年前後には世界No.1だった日本の国際競争力は今や世界38位にまで低迷し、平均賃金はすでにアジアの近隣諸国の後塵を拝すレベルにまで下落しています。つまり、このような歪んだ裏金・金権利権政治を正さなければ、失われた30年が失われた40年にもなりかねず、そうなったら私たちの子ども達・孫達の世代は、今以上に厳しい状況の中での生活を強いられることになってしまいます。

本来は、このような状況を生み出してきた自民党が自ら徹底的に裏金問題の真相を究明し、責任者を罰し、その上で政治資金規正法等の抜本改正を断行して、二度とこのような「人を大事にしない政治」が続けられないようにしなければなりません。ところが

そうはならなかったのです。自民党は真相究明にまったく後ろ向きで、通常国会ではあろうことか「裏金温存法案」としか言いようのないザル法を成立させ、裏金や利権政治の温床となってきた政策活動費や企業・団体献金、政治資金パーティの継続を図ったのです。

このような自民党の姿勢にダメ出しをしたのは、10月の総選挙で爆発した国民の皆さんの怒りでした。自民党・公明党の与党が過半数割れに追い込まれる大敗を喫したのです。残念ながら野党がまとまりきれず、政権交代にまでは至りませんでした。2012年末から続いてきた自民党一強政治の下での強引かつ一方的な国会運営はもはや通用せず、一つ一つの政策で野党の協力を得る努力をしなければ予算案も法案も成立しない状況が生まれたのです。「選挙でしか政治を変えることは出来ない」—まさに皆さんの怒りが、政治を変えたのです。

今後は、野党第一党である私たち立憲民主党が他の野党とも連携し、堂々と政府・与党に政策論争を挑み、積極的に具体的な政策を提案し、その実現を図るべく努力をしていかなければなりません。今年、2025年は、7月に参議院選挙を控えており、政治的には極めて重要な年になると思います。皆様のご期待にお応え出来るよう、今年も力いっぱい国政に邁進してまいりますので、どうか倍旧のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2025年1月吉日

立憲民主党 参議院比例第7総支部長

参議院議員 石橋みちひろ

石橋みちひろ プロフィール



■1965年7月1日、鳥根県安来市生まれ。松江市育ち。

■学歴

1988年 中央大学法学部法律学科卒業

1991年 米国アラバマ大学大学院修了(政治学修士号取得)

■職歴・議員歴

1992年～全電通(現NTT労組)中央本部勤務

2001年～国際労働機関(ILO)勤務(イタリア、フィリピン勤務)

2009年～情報労連・NTT労組 特別中央執行委員

2010年～参議院議員(比例全国区選出。現在3期目)

■主な役職等

●党役職：参議院国会対策委員長筆頭代理 / 鳥根県連代表代行 / 外国人受け入れ制度PT座長

●所属委員会：厚生労働委員会 / 議院運営委員会(筆頭理事) / 政治改革特別委員会

●議連：超党派ILO活動推進議連事務局長 / 超党派教育ICT活用促進議連事務局長 / 超党派非正規雇用対策議連事務局長 / 野党系超党派沖縄等米軍基地問題議員懇談会事務局長 / 他

第216回 臨時国会ハイライト



厚生労働委員会で福岡大臣と論戦を展開！

第216回臨時国会の終盤の2024年12月19日、石橋議員は参議院厚生労働委員会で30分間の質問を行いました。石橋議員の国会質問は、第213回通常国会での一般質疑（2024年6月18日）以来、半年ぶりのこととなります。

今回の議題は、12月10日に行われた福岡資麿厚生労働大臣の所信に対する質疑で、主に2つの大項目（「1. 我が国の労働者を取り巻く現状についての問題認識とその改善のために実行すべき労働法制改革の具体策」と「2. 困窮者支援と生活保護行政のあり方」）について、福岡大臣を質しました。

福岡大臣は過去に自民党の厚生労働部会長なども務めた経験があり、党内では政策通の1人ではありますが、



この日は厚生労働省が現に行っている施策の説明に終始し、自らのイニシアティブにより何をしたいのかが伝わってきませんでした。

第217回通常国会では、石橋議員は福岡大臣と真っ向から対峙し、政策論争を深めて参ります。是非、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます！

議院運営委員会の役割とは？

石橋議員は、2024年秋から新たに参議院 議院運営委員会（議運委）の野党筆頭理事を務めることとなりました。議運委とは、ひと言で言えば、参議院の国会運営全般を司る委員会で、所掌範囲は極めて広範です。

例えば以下が議運委の職務です。

- ①国会の召集の決定
- ②国会開会中の本会議の審議日程や議案の決定
- ③強行採決などで国会が空転した場合の正常化
- ④委員長・委員の割り振り、本会議場の座席指定
- ⑤大臣等が国会の開会中に海外出張を行う場合の可否決定
- ⑥国会同意人事（日銀総裁、公取委員長など）
- ⑦コロナ禍での緊急事態宣言などの発令や解除についての質疑
- ⑧参議院の公用車の車種選定
- ⑨国立国会図書館の管理・運営

また、臨時国会中の2024年12月5日、ベトナム社会主義共和国のチャン・ティン・マン国会議長が参議院を公式訪問して、関口昌一参議院議長を表敬され、議長との懇談と議場の視察を行いました。（写真参照）日本側は、関口議長の外、長浜副議長、牧野議運委員長、議運委の与野党理事等がマン議長をお迎えしましたが、このように外国から参議院を公式訪問される方への対応も、議運委の重要な任務の一つです。

組織の全体を把握し、業務の効率化・適正化を実現するという意味では、民間企業の総務課の仕事とも近いと言えるかもしれません。



石橋みちひろの情報発信



公式Webサイト



Facebook



YouTube

